



グラフレポート活用①⁹
～社員商品別、3カ年実績編～

アジェンダ

01 グラフレポート機能とは

02 実際の作成方法

03 その他作成時の注意点

このレポートで解決できる課題

<営業マネージャーの悩み>

社員の商品ごとの実績が
かんたんに確認できれば
いいのになあ・・・



<営業の声>

毎日報告業務をしているのに
会議用資料を毎回作るのが
大変だなあ・・・



社員ごとの商品別に実績が確認できることにより、
今期の実績の把握ができます

01 グラフレポート機能とは

グラフレポートについて

作成フロー概要

1 データソース

顧客名	業種	案件名	進捗状況	受注					
sample株式会社	製造業	A導入案件	9.導入/開発中	20					
sample株式会社	製造業	esm/80L	8.受注	20					
sample株式会社	製造業	esm/ASPトライアル30L	トラブル対応	20					
sample株式会社	製造業	esm保守更新	3.課題明確化						
sample株式会社	製造業	Webマーケティングコンサルティング	4.提案中						
ソフトブレン株式会社	情報通信業	A導入案件	4.提案中						
ソフトブレン株式会社	情報通信業	B導入案件	選択なし						
ソフトブレン株式会社	情報通信業	B導入案件	選択なし						
ソフトブレン株式会社	情報通信業	esm RemixCloud/100L	トラブル対応					営業太郎	えいぎょうた
ソフトブレン株式会社	情報通信業	esm/120L	6.最終調整中	2010-06-15	10,000,000円	営業太郎	えいぎょうた		
ソフトブレン株式会社	情報通信業	esm/40L/関西支社	5.費用交渉中	2010-09-30	4,800,000円	営業太郎	えいぎょうた		
ソフトブレン株式会社	情報通信業	eSM新規導入	選択なし			営業三郎			
ソフトブレン株式会社	情報通信業	eSM新規導入	選択なし			営業太郎	えいぎょうた		

帳票・グラフの元となるデータの固まり(データソース)を作成します

- 使用するシートを選択します
- シートの中から使用する項目を選択します
- 帳票での集計項目、抽出条件など全てを含めたものを作成します

2 帳票

顧客別案件数および受注金額						
受注(予定)日: 今日から 12カ月前~0カ月後						
該当件数 9件 50件 表示						
	2013-8		2013-9		2013-10	
	案件数	案件金額	案件数	案件金額	案件数	案件金額
BM商事株式会社	0	0円	0	0円	0	0円
たから歯科クリニック	0	0円	0	0円	0	0円
ロングフーズ株式会社	0	0円	0	0円	0	0円
株式会社アルファラン	0	0円	0	0円	0	0円
株式会社大河組	0	0円	0	0円	0	0円
高田製菓株式会社	0	0円	0	0円	0	0円
東都電力株式会社	0	0円	0	0円	0	0円
日高歯科クリニック	0	0円	0	0円	0	0円
武田建設株式会社	0	0円	0	0円	0	0円

作成したデータソースを元に帳票を選択します

帳票には、「一覧表」と「クロス集計表」の二種類あります

※削除する場合は、作成手順と逆の手順で行います。
それぞれ次のフローに進むと、変更・削除ができなくなります。

データソース

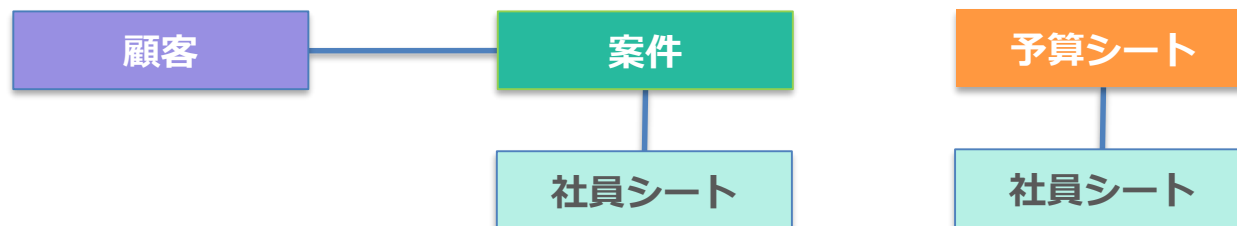
シート・結合マップ・データソースの選択

データソースの作成元となる形式を選択します。
作成元としては、下記の3パターンがあります。

- ① シート選択 ※シート単体からデータソースを作成します



- ② 結合マップ選択 ※複数シートを組み合わせてデータソースを作成します

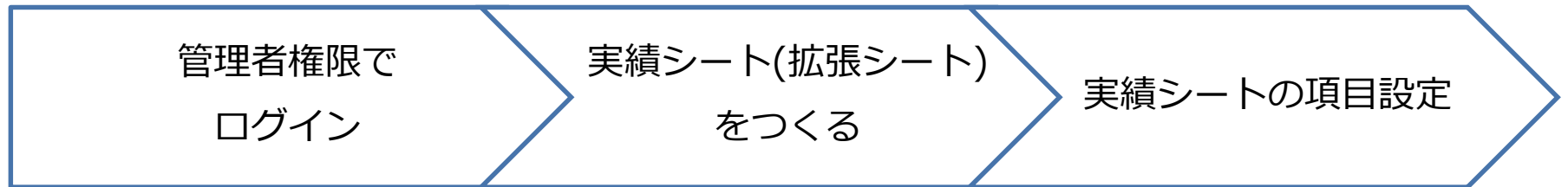


- ③ データソース選択 ※複数データソースを組み合わせてデータソースを作成します



02 実際の作成方法

実績シートへの作成



実績シート作成①

※設定には管理者での作業が必要です

管理者として環境にログインして、以下の手順で設定をしてください。

1 シートの一覧と拡張

2 新規シート登録

シートの一覧と拡張をクリックし、新規シート登録を選択します

No.	シート名	シートタイプ	オブジェクト名	登録件数	順序
1	顧客		customer	115	変更
			business	942	変更
			communication	5226	変更
			product	26	変更
			person	588	変更
6	社員		employee	33	変更
7	キャンペーン		lead_source	0	変更
8	セミナー出欠席		attendance	0	変更
9	納品情報		delivery_info	0	変更
10	予算シート				

3 シート名に「実績シート」と入力し新規作成をクリックします

4 新規登録をクリックします

新規登録

実績シート (日本語)

他言語を表示

アイコン

ファイルを選択 選択されていません

シート色

実績シート作成②

※設定には管理者での作業が必要です

管理者として環境にログインして、以下の手順で設定をしてください。

セールスマネージャー
Remix

検索

シートの一覧と拡張

ホーム

シートの一覧と拡張

自社の設定

顧客の設定

営業プロセスの設定

アウトプットの設定

その他機能の設定

システムの設定

実績シート項目

実績シート項目

変更 変更前に戻す 戻る 項目をドラッグアンドドロップしてください。 プレビュー

No.	項目名	識別子	タイプ	2列表示...	PC版編集	携帯版...	必須入力	PC版参照	携帯版参照	順序
1	ID	id	文字	2列表示				使用可	使用可	
2			日時	2列表示				使用可	使用可	
		regist_per son		2列表示				使用可	使用可	
4	最終更新 日		日時	2列表示				使用可	使用可	
5	最終更新 者	modify_p erson		2列表示				使用可	使用可	

6

7

8

5

作成した「実績シート」をクリックします

6,7,8ステップでそれぞれ項目を追加します
項目設定の詳細はP14参照です

セレクト (30/30)

チェックボックス (30/30)

12 数値 (30/30)

1.2 小数 (30/30)

日付 (30/30)

Aa 文字 (30/30)

文章 (30/30)

ファイル (30/30)

パラメータ付きリンク (30/30)

タブ登録

区切り線

演算 (30/30)

紐付

© 2020 SOFTBRAIN Co.,Ltd. 12

実績シート作成③

※設定には管理者での作業が必要です

必要項目が追加されたのを確認し、変更をクリックして登録します。

10

変更 変更前に戻す 戻る 項目をドラッグアンドドロップしてください。 プレビュー

変更をクリックします

No.	項目	識別子	タイプ	2列表示…	PC版編集	携帯版…	必須入力	PC版参照	携帯版参照	順序
1				2列表示				使用可	使用可	<input type="checkbox"/>
2	登録日		日時	2列表示				使用可	使用可	<input type="checkbox"/>
3	登録者	regist_per son		2列表示				使用可	使用可	<input type="checkbox"/>
4	最終更新 日		日時	2列表示				使用可	使用可	<input type="checkbox"/>
5	最終更新 者	modify_p erson		2列表示				使用可	使用可	<input type="checkbox"/>
6	売上日		日付	2列表示	使用可	使用可		使用可	使用可	<input type="checkbox"/>
7	売上金額	customize _sheet_in teger_1	数値	2列表示	使用可	使用可		使用可	使用可	<input type="checkbox"/>
8	顧客名		顧客 紐付		使用可	使用可		使用可	使用可	<input type="checkbox"/>

9 項目追加されたのを確認します

- セレクト (30/30) ?
- チェックボックス (30/30) ?
- 12 数値 (29/30) ?
- 1.2 小数 (30/30) ?
- 日付 (29/30) ?
- Aa 文字 (30/30) ?
- 文章 (30/30) ?
- ファイル (30/30) ?
- パラメータ付きリンク (30/30)
- タブ登録 ?
- 区切り線 ?
- 演算 (30/30) ?
- 紐付 ?

実績シートへの権限付与

※設定には管理者での作業が必要です

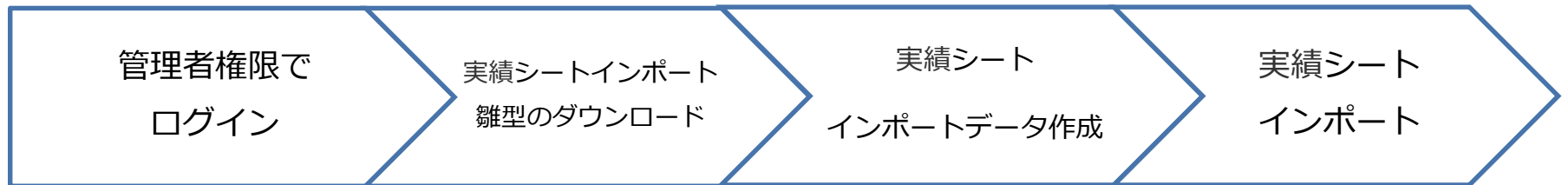
作成した「実績シート」が、登録、編集、参照できるようにロール管理画面にて権限を付与します。

1 システムの設定を選択し、利用機能を制限をクリックします
2 システムの設定を選択し、利用機能を制限をクリックします
3 ロール編集をクリックします

4 システムの設定→利用機能を制限→ロール編集からロール一覧を開き、以下の権限をチェックします

ロール名	ナレッジシェアライセンス	スタンダードライセンス	グループウェアライセンス	アナライザライセンス	月間行動予測ライセンス	予算実績管理ライセンス	マップライセンス	アナライゼ
実績シート編集		✓						
実績シート登録		✓						
実績シート変更		✓						
実績シート削除		✓						
実績シート参照		✓						
実績シート参照		✓						
実績シートリスト更新		✓						
積上シート編集						✓		

実績シートデータインポート



実績シートインポート① CSV雛型のダウンロード

管理者として環境にログインして、以下の手順で設定をしてください。
実績シートインポート画面より「ダウンロード」より雛型ファイルを取得します。

セールスマネージャー
Remix

管理者 ヘルプ

データのインポート データのインポート 階層化メンテナンス データメンテナンス状況確認

検索

ホーム
シートの一覧と拡張
自社の設定
顧客の設定
営業プロセスの設定
アウトプットの設定
その他機能の設定
システムの設定
画面表示の形式の設定

インポート一覧

No.	シート名
1	顧客インポート
2	案件インポート
3	案件(商品情報項目)インポート
4	活動インポート
5	活動(商品情報項目)インポート
6	名刺インポート
7	商品インポート
8	社員インポート
9	キャンペーンインポート
10	セミナー出欠席インポート
11	納品情報インポート
12	予算シートインポート
13	実績シートインポート
14	積上シートインポート

データのインポート データのインポート 階層化メンテナンス データメンテナンス状況確認

実績シートインポート

ファイル添付 マッピング確認 データ登録方法設定 シミュレーション設定 シミュレーション実行 インポート実行

1 インポートデータを作成してアップロードする

インポートするCSVファイルの雛型をダウンロードする

1 前回のインポート結果を修正して再度インポートする。下記のリンクをクリックしてください。

前回のインポート結果を表示

設定したフォーマットに従ってデータを作成する

データの日付フォーマット 2001/01/31 または 2001-01-31

1 実績シートCSVファイルの作成手順については、こちらをご参照ください。

CSVファイルをアップロードする

文字コード MS932 (日本語)

↓ここをクリックまたはファイルをドロップ

次へ

1 システムの設定を選択し、データのインポートをクリックします
2 実績シートインポートをクリックします

4 ダウンロードをクリックします

実績シートインポート②インポート用データ作成

雛型ファイルを利用して、インポートファイルを作成し保存します。

customize_20012_import_template.csv - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 eSMデータ 実行したい作業を入力してください

貼り付け 游ゴシック 11 A A 折り返して全体を表示する 標準

B I U 罫線 A 7 セルを結合して中央揃え % 条件付書式

クリップボード フォント 配置 数値

A1 ID

	A	B	C	D
1	ID	売上日	売上金額	顧客名
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				

5

「ID」・・・全て「1」を入力します

「売上日」・・・売上月を日付形式で入力します
例) 1月売上の場合
2020-01-01

「売上金額」・・・売上金額を入力します
例) 10,000,000

「顧客名」・・・売上を紐付ける顧客名を入力します
例) ソフトブレン株式会社 など

実績シートインポート③インポートデータ保存

雛型ファイルを利用して、インポートファイルを作成し保存します。

	A	B	C	D	E	F	G
1	ID	売上日	売上金額	顧客名			
2	1	2020/1/10	2200000	★株式会社スマイル			
3	1	2019/12/15	6600000	堂林交通株式会社			
4	1	2019/7/28	5600000	中央鉄鋼株式会社			
5	1	2019/3/27	4400000	株式会社DDH			
6	1	2019/11/2	5400000	マクロマイクロ株式会社			
7	1	2019/7/5	5300000	三井電池工業株式会社			
8	1	2019/12/7	4700000	RISK株式会社			
9	1	2019/11/8	4700000	株式会社フロントワーク			
10	1	2019/12/3	4600000	タナカデンキ株式会社			
11	1	2019/3/22	8000000	IAI-System株式会社			
12	1	2019/2/15	7400000	株式会社ナギサ販売			
13	1	2019/11/2	7700000	独立行政法人コンピュータ産業開発機構			

■ インポートデータ作成時の注意 ■

- ・売上日は、「yyyy-mm-dd」もしくは「yyyy/mm/dd」で入力してください
- ・売上日は、月しか必要なくても日付まで明示的に入れる必要がありますので任意の日付を選択ください（1日等適当な日付で結構です）
- ・顧客名はeセールスマネージャーに入っている顧客名と同じ名前を入力下さい

実績シートインポート④インポートデータアップロード

作成したインポートファイルを「ここをクリックまたはファイルをドロップ」よりアップロードします。

セールスマネージャー
Remix

管理者 ヘルプ

検索

データのインポート データのインポート 階層化メンテナンス データメンテナンス状況確認

実績シートインポート

ファイル添付 マッピング確認 データ登録方法設定 シミュレーション設定 シミュレーション実行 インポート実行

1 インポートデータを作成してアップロードする

インポートするCSVファイルの雛形をダウンロードする

① 前回のインポート結果を修正して再度インポートする場合は、下記のリンクをクリックしてください。

前回のインポート結果を表示

設定したフォーマットに従ってデータを作成する

データの日付フォーマット 2001/01/31 または 2001-01-31

② 実績シートCSV

ここをクリックまたはファイルをドロップします

③ CSVファイルアップロード

文字コード MS932 (日本語)

customize_20012_import_template.csv 削除

次へ

④ 次へをクリックします

ファイルの選択

ファイルを選択するには、
1.[参照]または[ファイルを選択]をクリックします。
2.次に、[決定]をクリックします。

⑤ ファイルを選択 customize_...plate.csv

決定

⑥ ファイルを選択をクリックし、インポートするCSVファイルを選択します
決定をクリックします

実績シートインポート⑤ マッチングキーの指定

マッチングキーにチェックをつけ、データの処理の設定を行います。

実績シートインポート

ファイル添付 > **マッピング確認** > データ登録方法設定 > シミュレーション設定 > シミュレーション実行 > インポート実行

2 データのマッピングに関する設定を行う

既存データとのマッピングに使用する項目を設定する

マッチングキー項目 (同一) ID IDにチェックします

紐付型項目のマッピング設定をする **11**

① 赤色 で表示されている項目はマッチングキー項目です。

CSVファイル項目	ID	売上日	売上金額	顧客名
インポート対象項目	ID	売上日	売上金額	顧客名
サンプル1	1	2020/1/10	2200000	★株式会社スマイル
サンプル2	1	2019/12/15	6600000	堂林交通株式会社
サンプル3	1	2019/7/28	5600000	中央鉄鋼株式会社
サンプル4	1	2019/3/27	4400000	株式会社DDH
サンプル5	1	2019/11/2	5400000	マクロマイクロ株式会社
サンプル6	1	2019/7/5	5200000	三井重工業株式会社
サンプル7	1	2019/12/15	6600000	堂林交通株式会社
サンプル8	1	2019/7/28	5600000	中央鉄鋼株式会社
サンプル9	1	2019/12/15	6600000	タナカデンキ株式会社
サンプル10	1	2019/3/22	8000000	IAI-System株式会社

戻る **次へ** 次へをクリックします

実績シートインポート

ファイル添付 > マッピング確認 > **データ登録方法設定** > シミュレーション設定 > シミュレーション実行 > インポート実行

3 データを登録する際の処理を設定する

eセールスマネージャーRemix Cloudに登録されていないデータは

- 新規登録する
- 新規登録しない

eセールスマネージャーRemix Cloudに登録済みのデータは

- 上書きする
- 上書きしない
- コピーとして作成する

「新規登録する」「上書きしない」を選択します

詳細設定を表示

戻る **次へ** 次へをクリックします

実績シートインポート⑥インポート確認

シミュレーション設定画面が表示されるので、実行するかしないか選択を行います。インポートする件数が1000件を超える場合は、シミュレーションを行きましょう。通知先にメールアドレスを入力すると、シミュレーションもしくはインポート完了時に通知が入ります。

実績シートインポート

ファイル添付 > マッピング確認 > データ登録方法設定 > シミュレーション設定 > シミュレーション実行

4 シミュレーションの設定をする

シミュレーションの実行 **15**

インポートを実行する際にインポートデータにエラーがないかシミュレーションします。他システムとの連携が失敗によるエラーは検知できません。 **16**

する しない

通知先

※インポート完了時にも通知します

メールアドレス

戻る **17** **次へ** **次へをクリックします**

acacia2.softbrain.co.jp の内容

インポートを実行します。インポートを実行すると中断できません。よろしいですか。

OKをクリックします **18** **OK**

未登録・未更新データに件数が表示された場合は、エラーになっています。数字をクリックしてCSVをダウンロードし、エラー原因を確認しましょう

シミュレーションを選択して「次へ」をクリックと、開始します
完了後にメールでの通知を受信したい場合はメールアドレスを入力します
シミュレーションの実行「する」を選択した場合、その後必ずインポートを実行して下さい

実績シートインポート

ファイル添付 > マッピング確認 > データ登録方法設定 > シミュレーション設定 > シミュレーション実行 > **インポート実行**

インポート完了 **19**

処理レコード数 4 / 4
インポート結果を全てダウンロード

登録・更新データ 4 件

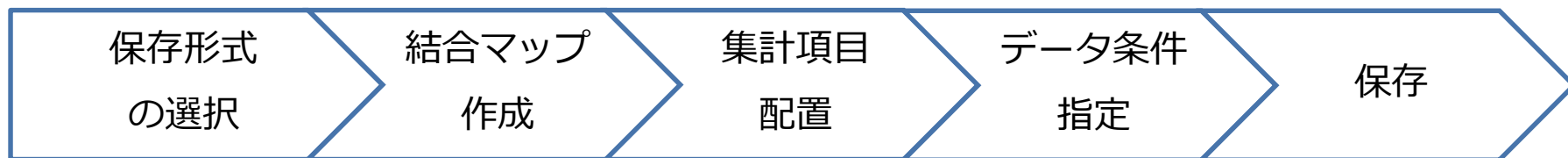
登録データ件数	4	内コピーとして登録: 0
更新データ件数	0	

未登録・未更新データ 0 件

マッチングキーが空白のため	0	新規データを登録しない設定のため	0
複数件マッチングしたため	0	登録済みデータを上書きしない設定のため	0
データが不正なため	0		

続けてインポートする

データソース作成



データソース作成①

帳票やグラフを作成する前に、まずはデータソースを作成する必要があります。

セールスマネージャー
Remix

管理者 ヘルプ

システムメニュー

顧客
案件
名刺
活動
社員
商品
カレンダー
データ分析
書類棚
タイムライン
実績
掲示板

データソース一覧

データ分析 グラフレポート データソース

データソース一覧

カテゴリ新規作成 データソース新規作成 削除

カテゴリ・データソース名	使用シート	同期間隔	最終同期日時	最終更新日	最終更新者	順序	
No.1				2020-02-10 13:55	管理者		
No.2				2020-02-10 13:55	管理者		
No.3				2020-02-10 13:55	管理者		
No.4				2020-02-10 13:55	管理者		
No.8				2020-02-10 13:56	管理者		
No.9				2020-02-10 13:56	管理者		
No.10				2020-02-10 13:56	管理者		
No.11				2020-02-10 13:56	管理者		

1 データソースをクリックします

2 データソース新規作成をクリックします
* カテゴリが作成されていない場合はデータソース新規作成が出てきません
先にカテゴリ新規作成を行ってください
カテゴリとは、フォルダのようなイメージです

データソース作成② データソースの選択

データソースを作成するためにどこからデータを取得するか選択します。

データ分析

シート・結合マップ・データソースの選択

シート・結合マップ・データソースの選択 > 集計項目の設定 > 集計条件の設定 > データソースの保存

▲ データソースの作成対象とするシート・結合マップ・グラフを選択します。

1 結合マップ新規作成をクリックします

選択	名称	説明	使用シート	操作	順序
<input type="checkbox"/>	シート選択				
<input type="checkbox"/>	結合マップ選択				
<input type="checkbox"/>	データソース選択				

データソースを作成するためにどこからデータを取得するかを選択します

- ・**シート選択**
一つのシートから帳票・グラフを作成したい場合に選択します
- ・**結合マップ選択**
複数のシートの情報を組み合わせて帳票・グラフを作成したい場合に選択します

★今回はシート選択ではなく結合マップを使用してデータソースを作成します

戻る 次へ

データソース作成③ 結合マップの作成 1

まずは、一昨年の結合マップを作成します。
複数のシートを結合して一つの結合マップを作成します。

結合マップ新規作成

▲ シート追加メニューより結合したいシートまたはデータソースを追加し、結合マップを作成します。

結合マップ名 (日本語)
他言語を表示

説明文

結合

結合

顧客1 実績シート1

必要なシートをクリックして、左側の枠内にカーソルを移動します

水色の四角形が表示されたら、クリックして配置します
*ドラッグアンドドロップでは配置できません

1

2

3

今回は、顧客、実績シートを選択します
※シート間の配置は距離を開けて配置してください
距離を詰めて配置すると、結合が難しくなります

Detailed description: The image shows a software interface for creating a combined map. At the top, there's a title bar '結合マップ新規作成' and a warning message. Below that, there are input fields for '結合マップ名' and '説明文'. A '他言語を表示' button is also present. The main area is divided into sections for '結合' (Combine). On the right, a grid of sheet icons is shown, with a red box around it and a callout '1' pointing to it. A red arrow points from this grid to a light blue square in the '結合' section, labeled '2'. A second red arrow points from this square to a specific sheet icon labeled '顧客1' in the '結合' section, labeled '3'. A callout '3' points to the '顧客1' sheet. A large callout at the bottom right explains the selection process and provides a warning about spacing between sheets.

データソース作成③ 結合マップの作成2

シート間を結合し、シート間の結合設定します。

1 結合をクリックします

2 結合させたいシート上にカーソルを移動させ、結合方向に□を出してクリックします

3 もう一方のシートにカーソルを移動させ、結合方向に□を出してクリックします

5 シート間の結合すれば完了です

シートをどの項目で結合するか設定します
基本的にデフォルトのままで設定完了で集計出来ます
デフォルト項目以外で、結合したい場合は、別紙を参照してください
【別紙参照】④シート間結合可能項目一覧

シート間結合設定

選択したシート間で結合する項目を選択して下さい。

シート	顧客 - 実績シート
<input type="checkbox"/>	「顧客」を外部結合する
<input type="checkbox"/>	「実績シート」を外部結合する
<input checked="" type="radio"/>	顧客「実績シート」と実績シート「顧客名」
<input type="radio"/>	その他の項目で結合する

設定完了

4

データソース作成③ 結合マップの作成3

シートの結合が完了しましたら「結合マップ名」を記入し、登録します。

※既に作成されている結合マップと同一名称のものは登録できません。

エラーが表示されたら結合マップ名を変更して、登録を行ってください。

今回の例ではもう2つ結合マップを作成する為、作成した結合マップをコピーします。

結合マップ新規作成

▲ シート追加メニューより結合したいシートまたはデータソースを追加し、結合マップを作成します。

結合マップ名 **1** 一昨年 (日本語)

他言語を表示

説明文

結合

顧客1 実績シート1

2 「登録」をクリックします

登録

結合マップ名を記入します

データ分析

シート・結合マップ・データソースの選択

選択	名称	説明	使用シート	操作	順序
<input type="checkbox"/>	B (未達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	1
<input type="checkbox"/>	C (達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	2
<input type="checkbox"/>	C (未達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	3
<input type="checkbox"/>	D (達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	4
<input type="checkbox"/>	D (未達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	5
<input type="checkbox"/>	顧客実績		顧客, 実績	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	6
<input type="checkbox"/>	顧客案件		顧客, 案件	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	7
<input type="checkbox"/>	顧客案件社員		顧客, 案件, 社員	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	8
<input type="checkbox"/>	案件活動		案件, 活動	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	9
<input type="checkbox"/>	顧客社員集計		顧客, 社員	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	10
<input type="checkbox"/>	部署別活動		部署, 活動	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	11
<input type="checkbox"/>	顧客案件社員集計		顧客, 案件, 社員	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	12
<input type="checkbox"/>	社員予算集計		社員, 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	13
<input type="checkbox"/>	活動時間		活動, 時間	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	14
<input type="checkbox"/>	案件登録数		案件, 登録数	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	15
<input type="checkbox"/>	一昨年		顧客, 実績シート	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	16

先程作成した結合マップ「一昨年」右側にあるコピーをクリックします

3

次へ

データソース作成③ 結合マップの作成 4

結合マップコピーを選択し、結合マップ名を変更して登録を行います。

The image shows a two-step process in a software interface for creating a combined map. The first step shows the '結合マップコピー' dialog with the name field containing 'ー昨年' (Last Year) and a red box around it, with a callout '1' and '結合マップ名を削除します' (Delete the combined map name). The second step shows the same dialog with the name field containing '昨年' (Last Year) and a red box around it, with a callout '2' and '結合マップ名に「昨年」と記入します' (Enter 'Last Year' in the combined map name). At the bottom of the second dialog, a blue '登録' (Register) button is highlighted with a red box and a callout '3' and '「登録」をクリックします' (Click 'Register').

結合マップコピー

① シート追加メニューより結合したいシートまたはデータソースを追加し、結合マップを作成します。

結合マップ名: ー昨年 (日本語)

他言語を表示

説明文: 結合マップ名を削除します

結合

顧客1 実績シート1

結合マップコピー

② シート追加メニューより結合したいシートまたはデータソースを追加し、結合マップを作成します。

結合マップ名: 昨年 (日本語)

他言語を表示

説明文: 結合マップ名に「昨年」と記入します

結合

顧客1 実績シート1

登録

③ 「登録」をクリックします

顧客 案件 案件商品情報項目
活動 活動内容 活動商品情報項目
商品 名刺 社員
31

データソース作成③ 結合マップの作成5

再度結合マップコピーを選択し、結合マップ名を変更して登録を行います。

1 シート追加メニューより結合したいシートまたはデータソースを追加し、結合マップを作成します。

結合マップ名: 昨年 (日本語)

他言語を表示

説明文: 結合マップ名を削除します

2 結合マップ名に「今年」と記入します

結合マップ名: 今年 (日本語)

他言語を表示

3 「登録」をクリックします

登録

データソース作成④ 結合マップの選択

新規作成した結合マップは、一番下に作成されますので、チェックをつけ選択します。

データ分析

シート・結合マップ・データソースの選択

選択	名称	説明	使用シート	操作	順序
<input type="checkbox"/>	D (未達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	顧客実績		顧客, 実績	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	顧客案件		顧客, 案件	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	顧客案件社員		顧客, 案件, 社員, 部署	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	案件活動		顧客, 案件, 活動, 活動内容, 社員, 部署	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	顧客社員集計		顧客, 社員	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	部署別活動		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 名刺	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	顧客案件社員集計		顧客, 案件, 社員	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	予算集計		予算シート, 社員	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	顧客登録数		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	一昨年		顧客, 実績シート	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	昨年			<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	今年			<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>

データソース選択

1 作成した3つの結合マップにチェックします

「次へ」をクリックします

2 登録

データソース作成⑤ 集計項目の配置

帳票やグラフで必要となる項目を選択します。

◎ドリルダウンした際に見たい項目、抽出条件として設定したい項目全てを選択します。

データソースの並び順は、一番左側に配置した項目の昇順で表示されます。

集計項目の設定

シート・結合マップ・データソースの選択 > **集計項目の設定** > 集計条件の設定 > データソースの保存

集計する項目を選択し、項目と値を表示する位置を設定して下さい。
▲ シートや結合マップを複数選択している場合は、シート、結合マップごとに配置して下さい。
また、各列の項目の項目名と、シート、結合マップごとの区分として出力する値を設定して下さい。

1 シートの隣の▼をクリックすると、各シートの項目を選択できます

2 この▼をクリックすると、他の結合マップの項目を追加します

3 帳票・グラフ・出力の絞り込みに使用したい項目をクリックします
項目の並び順はドラッグアンドドロップで変更できます

4 「次へ」をクリックします

5 ※必要な項目を選択し終わるまで①～④を繰り返します

顧客名	業種	社員名	※1	商品名
顧客名	業種	社員名	商品名	
業種	業種			
顧客名	業種			

結合マップ「一昨年」

- 顧客
- 顧客コード
- 顧客名
- 顧客名(カ) (他呼称)
- 住所
- 建物名

「次へ」

※1表示項目名の変更はこちらのアイコン  より可能です。

【参考】この例で必要な項目

この例では以下のように項目を配置する必要があります。

(結合マップ「一昨年」)
顧客より項目選択します

(結合マップ「一昨年」)
実績シートより項目選択します

顧客名	業種	社員名	商品名	売上日	売上金額	区分
顧客名	業種	社員名	商品名	売上日	売上金額	一昨年
顧客名	業種	社員名	商品名	売上日	売上金額	昨年
顧客名	業種	社員名	商品名	売上日	売上金額	今年

(結合マップ「昨年」)
顧客より項目選択します

(結合マップ「今年」)
顧客より項目選択します

(結合マップ「今年」)
実績シートより項目選択します

(結合マップ「昨年」)
実績シートより項目選択します

デフォルト項目
です

データソース作成⑥ データ条件指定 1

データソース上で絞り込むための条件を設定します。

結合マップで結合したシート項目より、条件指定の選択が可能です。

集計件数が少ない方がシステム負荷が減るので、なるべく条件を絞るようにしてください。

データ分析

集計条件の設定

シート・結合マップ・データソースの選択 > 集計項目の設定 > 集計条件の設定 > データソース

1

「一覧表示項目を変更」をクリックします

このデータソースにおいて集計するデータを絞り込むための条件を設定して下さい。

集計条件は1項目も設定されていません。

戻る

データソース集計条件設定 項目設定

表示項目 [一括で削除]

項目一覧

- 顧客(一昨年) [一括で追加]
- 実績シート(一昨年) [一括で追加]
- 顧客(昨年) [一括で追加]
- 実績シート(昨年) [一括で追加]
- 顧客(今年) [一括で追加]
- 実績シート(今年) [一括で追加]

結合マップに使用しているシートが項目一覧に表示されます

設定完了

データソース作成⑦ データ条件指定2

今回の例では、売上日を絞ってデータ抽出を行ってみましょう。

今回は実績シートの「売上日」を集計条件設定に使用します
項目一覧でクリックすると、自動でグレーアウトされて
左側の表示項目へ追加されます
各結合マップ名がシート名の後ろに表記される為、
3つの結合マップ分の「売上日」を選択します

2

3

「設定完了」をクリックします

4

5

条件を設定したら「次へ」をクリックします

実績シート（一昨年）の「売上日」を選び、
一昨年の期間を設定します
※期間指定で2年前の期初から期末

実績シート（昨年）の「売上日」を選び、
昨年の期間を設定します
※期間指定で1年前の期初から期末

実績シート（今年）の「売上日」を選び、
今年の期間を設定します
※期間指定で今年の期初から期末

データソース作成⑦ 保存

データソースを保存します。

※同期間隔を15分～1440分の間で設定可能になりました。

1 データソース名と説明文を入力し、データソースを参照・参照編集できるユーザを設定してください。

どのカテゴリに保存するか選択し、データソース名を記入します

カテゴリ: デフォルト

データソース名: 3カ年実績 (日本語)

他言語を表示

説明文

2 毎日1回の更新、またはある一定の時間での更新を選択できます

同期間隔

- 毎日(GMT+09:00)日本標準時(Asia/Tokyo)の 00 : 00 に同期処理を開始する
- 15 分おきに実行する
- 定時同期しない

参照権限

- 全員
- 社員を指定する

参照編集権限

- 全員
- 社員を指定する

「新規データソースとして保存」をクリックします

3 新規データソースとして保存

acacia2.softbrain.co.jp の内容

データソースを設定した内容で保存します。よろしいですか?

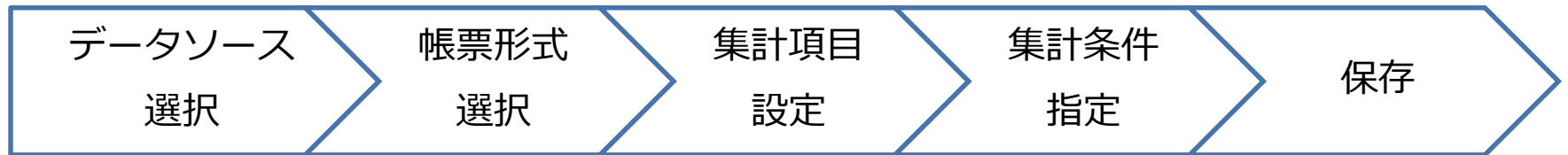
4 「OK」をクリックします

acacia2.softbrain.co.jp の内容

データソースの集計結果を表示しますか?
(表示すると、データソースの一覧を表示します)

5 「キャンセル」をクリックします
※集計結果を見たい場合は「OK」をクリックします
その場合、結果が表示されるまで時間がかかります

帳票の作成



帳票の作成① 帳票形式選択

作成したデータソースを使用して帳票を作成します。データソースの選択と、帳票の形式の選択します。

1 グラフレポートをクリックします

2 帳票新規作成をクリックします
* カテゴリが作成されていない場合は帳票新規作成が出てきません
先にカテゴリ新規作成を行ってください
※カテゴリとは画面上的フォルダアイコンを示します

3 作成したデータソースを選択します

4 帳票の形式を選択します
・一覧表
各シートの検索結果画面のように、項目を横に並べて表示させる形式です
・クロス集計表
Excelのピボット集計のように、項目を集計し表として集計を行う形式です
* グラフを作成できるのはクロス集計表のみです

5 次へ

帳票の作成② 集計項目設定

帳票を作成するための項目を、左側データソースの項目よりドラッグアンドドロップで配置します。

集計項目の設定

帳票の形式の選択 > 集計項目の設定 > システム集計条件の設定 > ユーザー集計条件の設定 > 帳票の保存 > 帳票の確認

▲ 集計する項目を選択し、項目と値を表示する位置を設定して下さい。

3カ年実績

- 顧客名
- 業種
- 社員名
- 商品名
- 売上金額
- 区分
- 演算項目

2

配置する際は左下と右上の薄い灰色部分と右下の白い部分に項目を配置します

※今回は社員商品別3カ年実績での配置例を次ページで案内します

1

項目をドラッグアンドドロップで配置します

戻る 次へ

帳票の作成③ 集計項目設定

それぞれ項目を配置した際に、項目設定画面出てきますので、指定したい表示単位を選択します。

集計項目の設定

帳票の形式の選択 → **集計項目の設定** → システム集計条件の設定 → ユーザー集計条件の設定

▲ 集計する項目を選択し、項目と値を表示する位置を設定して下さい。

項目を設定すると表示単位の選択画面が表示されます
今回は全選択肢にチェックがついた状態で「設定完了」をクリックします

1 項目設定

2 小計・合計の選択をせず「設定完了」をクリックします

3 3力年実績

4 集計方法設定

5

集計値エリアは項目が集計されます
今回は「合計」にチェックをつけ、「設定完了」をクリックします

区分	表示	集計	選択肢名
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	一昨年
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	昨年
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	今年

項目名	データ型	小計・合計	表示順
社員名	文字	<input type="checkbox"/> 小計を出力する <input type="checkbox"/> 合計を出力する	<input checked="" type="radio"/> 昇順 <input type="radio"/> 降順
商品名	文字	<input type="checkbox"/> 小計を出力する <input type="checkbox"/> 合計を出力する	<input checked="" type="radio"/> 昇順 <input type="radio"/> 降順
売上金額	数値	<input checked="" type="checkbox"/> 小計を出力する <input type="checkbox"/> 合計を出力する	<input checked="" type="radio"/> 昇順 <input type="radio"/> 降順

集計方法設定

① 集計方法を設定し

項目名: 売上金額
データ型: 数値
集計方法: 合計 平均 最大 最小 累計・昇順 累計・降順

縦軸: 合計 平均 最大 最小
横軸: 合計 平均 最大 最小
重なった箇所の優先順位: 縦軸 横軸

戻る 次へ

帳票の作成④ 集計条件指定

システム集計条件、ユーザ集計条件にて、抽出条件の設定を行います。
◎データソースで設定した項目(P32)より選択が可能です。

1 作成する帳票の形式と、作成元となるデータソースを選択します。
集計条件は1項目も設定されていません。

今回はシステム集計条件は設定せず、「次へ」をクリックします

「一覧表示項目の変更」から集計条件の追加が可能です

2 ユーザ集計条件の設定

この帳票において集計するデータを絞り込むための条件を設定して下さい。
システム集計条件において選択した選択肢のみを、ユーザ集計条件で指定できます。

顧客で絞りこみを行えるように、ユーザ集計条件へ設定します
※P32で業種以外の項目を配置した場合は、その項目を設定しましょう

社員名	<input type="text"/>	▼ 検索オプション
商品名	<input type="text"/>	▼ 検索オプション
業種	<input type="checkbox"/> 全て選択 <input type="checkbox"/> 選択なし	<input type="checkbox"/> 全て解除 <input type="checkbox"/> 農業・林業 <input type="checkbox"/> 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> 金融業・保険業 <input type="checkbox"/> 不動産業・物品賃貸業 <input type="checkbox"/> 医療・福祉 <input type="checkbox"/> その他 ▲ 検索オプション <input type="checkbox"/> NOT検索
	<input type="checkbox"/> 漁業 <input type="checkbox"/> 情報通信業 <input type="checkbox"/> 学術研究・専門・技術サービス業 <input type="checkbox"/> 複合サービス事業	<input type="checkbox"/> 鉱業・採石業・砂利採取業 <input type="checkbox"/> 運輸業・郵便業 <input type="checkbox"/> 宿泊業・飲食サービス業 <input type="checkbox"/> サービス業
	<input type="checkbox"/> 建設業 <input type="checkbox"/> 卸売業・小売業 <input type="checkbox"/> 生活関連サービス業・娯楽業 <input type="checkbox"/> 公務	

3 条件項目設定後、「次へ」をクリックします

帳票の作成④ 【補足】集計条件指定

システム集計条件、ユーザ集計条件の違いは以下の通りです。

■ システム集計条件

- ◆ 管理者、作成者、編集権限保持者のみが設定できる条件です。
- ◆ 閲覧権限のみのユーザ側で条件を変更することはできません。
- ◆ 帳票閲覧時に、条件変更は誰でも不可。

■ ユーザー集計条件

- ◆ ユーザ側で帳票を確認する際に自由に変更できる条件です。
- ◆ 帳票閲覧時に「検索条件変更」より条件変更が可能です。
- ◆ 閲覧権限のあるユーザはどなたでも変更できる条件です。

帳票の作成⑤ 保存

条件を設定したら、「帳票名」を記入し保存します。
保存前にプレビュー画面で確認が可能です。

帳票の保存

帳票の形式の選択 > 集計項目の設定 > システム集計条件の設定 > ユーザー集計条件の設定 > **帳票の保存** > 帳票の確認

▲ 帳票名と説明文を入力し、ユーザが集計結果の絞り込みに使用できる検索項目を設定してください。
※必須項目です

1

データソースの同期処理が行われていないと「該当データはありません」と出てくる場合があります

帳票名や参照・編集権限の付与設定を行います

カテゴリ: デフォルト

帳票名: 社員商品別、3年実績 (日本語)

他言語を表示

説明文

参照権限: 全員 社員を指定する

参照編集権限: 全員

2

「次へ」をクリックすると帳票が確認出来ます

戻る 次へ

条件なし

該当件数 26件 50件 表示

	一昨年	昨年	今年
	86,800,000	64,400,000	2,200,000
商品A1	120,000,000	169,000,000	42,000,000
商品A2	98,000,000	246,000,000	
商品A3	185,000,000	50,000,000	
商品B1	33,000,000	185,000,000	113,000,000
商品B2	28,000,000	99,000,000	114,000,000
商品B3	29,000,000		
★営業太郎	商品A1 26,000,000	77,000,000	
	商品A2 0	148,000,000	
	商品A3 13,000,000		
	商品B2 28,000,000		
	商品B3 18,000,000		
★上司三郎	商品A1 0	40,000,000	10,000,000

数値のドリルダウンは、保存後可能です

acacia2.softbrain.co.jp の内容
帳票を設定した内容で公開します。よろしいですか?

3

4

OK キャンセル

新規登録

「新規登録」をクリックして、「OK」を選択すると帳票の作成および保存完了です

帳票の作成⑥ 作成した帳票の確認

作成された帳票は、グラフレポート一覧画面より確認が可能です。
 該当帳票名をクリックすると帳票画面が開きます。

◎ユーザ条件が設定されている場合は、ユーザ側で条件変更が可能です。

データ分析 | グラフレポート | データソース

グラフレポート一覧

カテゴリ・帳票名	形式	説明	変更	最終同期日時	作成元	順序
予算実績管理 (単月グラフ用) <input type="button" value="同期"/>	帳票	クロス集計表	変更	2020-03-18 12:00	予実集計用	
予算実績管理 (累計グラフ用) <input type="button" value="同期"/>	帳票	クロス集計表	変更	2020-03-18 12:00	予実集計用	
予算見込み集計グラフ (累計) <input type="button" value="同期"/>	グラフ	棒グラフ	変更	2020-03-18 12:00	予算実績管理 (累計グラフ)	
予算見込み集計グラフ (単月) <input type="button" value="同期"/>	グラフ	棒グラフ	変更	2020-03-18 12:00	予算実績管理 (単月グラフ)	
顧客ランク別活動件数 <input type="button" value="同期"/>	帳票	クロス集計表	変更	2020-03-18 12:00		
KPI指標 <input type="button" value="同期"/>	帳票	クロス集計表	変更	2020-03-18 12:00		
パイライングラフ用 <input type="button" value="同期"/>	帳票	クロス集計表	変更	2020-03-18 12:00		
パイライングラフ (金額) <input type="button" value="同期"/>	グラフ	棒グラフ	変更	2020-03-18 12:00		
活動内容集計円グラフ <input type="button" value="同期"/>	グラフ	円グラフ	変更	2020-03-18 12:00		
顧客別集計 <input type="button" value="同期"/>	帳票	クロス集計表	変更	2020-03-18 12:00		
顧客別訪問件数 <input type="button" value="同期"/>	帳票	クロス集計表	変更	2020-03-18 12:00		
社員商品別、3カ年実績 <input type="button" value="同期"/>	帳票	クロス集計表	変更	2020-03-18 12:00		

提案用

作成した帳票名をクリックします

1

データ分析

社員商品別、3カ年実績 (最終同期日時:2020-03-18 16:12)

条件なし

CSV出力 同期

検索条件変更

該当件数 26件

商品名	2018年	2019年	2020年
商品A1	8,000,000	64,400,000	2,200,000
商品A2	12,000,000	169,000,000	42,000,000
商品A3	98,000,000	246,000,000	10,000,000
商品B1	33,000,000	185,000,000	113,000,000
商品B2	28,000,000	99,000,000	114,000,000
商品B3	29,000,000	0	59,000,000
商品C1	26,000,000	77,000,000	32,000,000

2

「売上金額」をクリックします

社員商品別、3カ年実績

該当件数 3件 50件 表示

顧客名	業種	社員名	商品名	売上日	売上金額	区分
株式会社HQフォン	情報通信業		商品A3	2018-03-01	13,000,000	一昨年
株式会社第二科学	製造業		商品A3	2018-10-01	86,000,000	一昨年
日本計算株式会社	製造業		商品A3	2018-07-01	86,000,000	一昨年

3

集計内容詳細が表示されます
 項目内容、並び順の設定はP32,P33

POINT

集計数値をクリックすると、集計内容明細が閲覧可能です。
 そこから「顧客情報」「案件情報」などにリンクで飛べるため、マネジメントが一画面で完結します。

03 その他作成時の注意点

システムに負荷をかけないために

- レポート機能は便利な機能ですが、誤って設定するとシステムに多大な負荷をかける恐れのある機能になりますので、設定時に以下の点にご注意ください。
 - ◆ POINT1 誤って設定しないよう、作成権限は必要最低限の方にのみ付与する
 - ◆ POINT2 データ同士の外部結合はなるべく避ける
 - ◆ POINT3 集計に必要なデータだけ集計する(なるべく抽出条件を設定しデータ量を絞る)
 - ◆ POINT4 データソースの項目数をむやみに増やさない
 - ◆ POINT5 データソースの構造はシンプルにする(不必要にユニオンしない)
 - ◆ POINT6 クロス集計表にて、むやみに「小計」「合計」を表示しない
 - ◆ POINT7 クロス集計表にて、むやみに項目をたくさん配置しない
 - ◆ POINT8 データソースの同期間隔の時間設定を一律にしない
(毎日1回なら時間をずらし、データが多い場合は15分おき実行は避ける)
- ◆ 詳細は、「【管理者マニュアル】グラフレポート編」をご確認ください

クロス集計表の集計項目について

クロス集計表の集計項目について、配置可能な項目、制限事項のご案内をします。

【設置可能な項目】
・数値型 ・セレクト型
・小数型 ・チェックボックス型
・日付型 ・文字型(1個まで)
※横に項目を並べることはできません



【設置可能な項目】
・数値型 ・セレクト型
・小数型 ・チェックボックス型
・日付型 ・文字型
※縦に項目を並べることはできません

集計値に用いる項目は4つまで配置できます
タテ並び、ヨコ並びどちらかの配置が可能です
【集計可能な項目】
・文字型項目 ・日付型 ・演算型
・数値型項目 ・演算型
・小数型項目 ※演算結果はドリルダウンできません

【参考】項目タイプごとの配置による条件一覧

項目タイプ	列ラベル配置時の設定	値配置時の設定	項目タイプ	列ラベル配置時の設定	値配置時の設定
数値型 小数型 演算型	<p>【表示範囲】 任意の範囲を一つの要素として出力することができます</p> <p>【表示単位】 任意の表示単位を指定できます</p>	<p>【集計方法】 合計 平均 最大 最小 累計・昇順 累計・降順 【小計・合計】 小計と合計を出力できます 【演算】 出力結果に対して四則演算ができます 【表示単位】 任意の表示単位を指定できます</p>	日付型 日時型	<p>【表示単位】 年 年度 半期帯 半期 四半期帯 四半期 月帯 月 日帯 日 時間帯（日時型のみ） 時間（日時型のみ） 年-半期-四半期-月(右上のみ) 年-半期-四半期(右上のみ) 年-半期-月(右上のみ) 年-半期(右上のみ)</p>	<p>【集計方法】 最大の日時 最小の日時</p> <p>【日付フォーマット】 ユーザーの日付フォーマット 任意の日付フォーマット</p>
文字型 文章型	<p>※文章型は配置できません</p> <p>【表示順】 ソートなし 昇順 降順 組織構成順 (部署名・社員氏名のみ)</p>	<p>【集計方法】 件数 軒数 件数 累計・昇順 件数 累計・降順 軒数 累計・昇順 軒数 累計・降順 (※文字が入力されているもののみカウントされます)</p> <p>【小計・合計】 (※出力結果の行に対してのみ) 小計と合計を出力できます</p>	グラフレポート演算型	配置できません	<p>【演算式】 他の値項目の出力結果や定数値を使った演算式を入力します ※日付型、日時型項目は式に含まれません</p> <p>【小数点以下の桁数】 出力する小数点以下の桁数を設定できます</p>
セレクト型 チェックボックス型	<p>※【各選択肢への設定】 表示順序 表示/非表示 合計・小計の対象とするか否か</p> <p>※【選択肢演算の追加】 他の選択肢の出力結果や定数値を使った演算式、その表示形式を設定できます</p>	配置できません	◎制限事項 横方向への小計・合計と累計（昇順・降順）は同時に設定することはできません。 小計・合計の出力設定は値に配置した項目間で共有されます。 小計・合計を出力できる項目と出来ない項目を両方配置した場合、小計・合計は出力されなくなります。 グラフレポート演算型項目は、演算式に含めた他の値項目が削除された場合、同時に削除されます。		

【参考】項目のソートについて

◎以下の項目でソートする場合は、名称ではなく内部コードの順でソートされるため注意してください。

シート名	項目名	項目タイプ
顧客	登録者	文字（社員コード）
	最終更新者	文字（社員コード）
	親顧客	文字（親顧客）
	親顧客 1～5	文字（親顧客）
案件	登録者	文字（社員コード）
	最終更新者	文字（社員コード）
案件 商品情報項目	商品コード	文字（商品コード）
活動	登録者	文字（社員コード）
	最終更新者	文字（社員コード）
	報告者	文字（社員コード）
	承認者	文字（社員コード）

シート名	項目名	項目タイプ
活動商品情報項目	商品コード	文字（商品コード）
商品シート	カテゴリ 1～10	文字（商品コード）
社員シート	部署名	文字（部署コード）
部署	所属部署コード	文字（部署コード）
	社員コード	文字（社員コード）
スケジュール	登録者部署コード	文字（部署コード）

※内部コードとは、eセールスマネージャーで自動で採番される、一意のコードとなります。

【参考】-日付項目配置時の表示単位と表示期間の説明-

表示単位	表示される期間の説明
年	西暦で表示します。 表示例：2015
年度	4月1日から翌年の3月31日までを4月1日時点の西暦で表示します。 表示例：2018
半期帯	西暦関係なく4月~9月を上半期、10月~3月を下半期で表示します。 表示例：1、2
半期	4月~9月を上半期、10月~3月を下半期で西暦ごとに表示します。 表示例：1、2
四半期帯	西暦関係なく4月~6月、7月~9月、10月~12月、1月~3月として表示します。 表示例：1、2、3、4
四半期	4月~6月、7月~9月、10月~12月、1月~3月として表示します。 表示例：1、2、3、4
月帯	西暦関係なく1月~12月を1カ月毎で表示します。 表示例：1~12
月	1月~12月の1カ月毎を西暦毎に表示します。 表示例：2018-1、2018-2、2018-3、2018-4
日帯	西暦、月関係なく1日~31日を1日毎表示す。 表示例：1~31
日	1月1日~12月31日の1日毎を西暦毎に表示します。 表示例：2018-1-1、2018-1-2
時間帯	西暦、月、日関係なく0時~23時を1時間ごとに表示します。 表示例：0~23
時	0時~23時の1時間毎を西暦毎に表示します。 表示例：2018-1-1-0~2018-1-1-23
年-半期-四半期-月	ラベルを上から西暦毎、半期毎、四半期毎、月毎で表示します。
年-半期-四半期	ラベルを上から西暦毎、半期毎、四半期毎で表示します。
年-半期-月	ラベルを上から西暦毎、半期毎、月毎で表示します。
年-半期	ラベルを上から西暦毎、半期毎で表示します。

【参考】 -日付項目「期首月」「年度の設定」 - ※管理者ログインでのみ設定可能です。

グラフレポートで表示される「期首月」「年度」を変更したい場合、カレンダー設定の変更にて設定変更が可能です。※デフォルトの期首月は4月になっています。

検索

ホーム

シートの一覧と拡張

自社の設定

部署・社員のメンテナンス

社員項目の変更

カレンダー設定の変更

自社商品のメンテナンス

商品項目の変更

コラボレーションの設定

顧客の設定

営業プロセスの設定

アウトプットの設定

その他機能の設定

システムの設定

カレンダー設定の変更

カレンダー設定

月間行動予定

期首月設定

④ ータ分析機能で使用する期首月を設定します。

期首月 1 月

年度の開始 暦年と同じ 暦年の前年
例：2020年度は2020年1月に開始

設定完了

休日設定

休日パターン 標準設定 iCalから追加

2020-03

月	火	水	木	金	土
休日設定	休日設定	休日設定	休日設定	休日設定	勤務日設定
勤務日 2	勤務日 3	勤務日 4	勤務日 5	勤務日 6	通常休日 7
勤務日 9	勤務日 10	勤務日 11	勤務日 12	勤務日 13	通常休日 14

【参考】 帳票の作成-集計値の表示単位-

表示単位	説明
件数	重複したレコードがあっても、まとめずに1件ずつカウントします。
件数 累計・昇順	重複したレコードをまとめずに1件ずつカウントし、集計開始日時より登録されている情報を集計終了日時に向かって累計していくことで集計します。
件数 累計・降順	重複したレコードをまとめずに1件ずつカウントし、集計対象期間での登録情報数から集計終了日時に向かって登録シート数を減算していくことで集計します。
軒数	重複したレコードがあれば、まとめて1件としてカウントします。
軒数 累計・昇順	重複したレコードをまとめて1件とカウントし、集計開始日時より登録されている情報を集計終了日時に向かって累計していくことで集計します。
軒数 累計・降順	重複したレコードをまとめて1件とカウントし、集計対象期間での登録情報数から集計終了日時に向かって登録情報数を減算していくことで集計します。

集計表示のイメージ

件数	件数 累計・昇順	件数 累計・降順	軒数	軒数 累計・昇順	軒数 累計・降順
訪問日 社員	クレーム 社員	プロセス 社員	訪問日 社員	クレーム 社員	プロセス 社員
単純に件数を 集計したい場合 (例)活動コード	積み重なった数字が 必要とされる集計を 行いたい場合 (例)活動コード	進捗率のパイプ ライン管理など (例)活動コード	活動案件数として 集計を行いたい場合 (例)案件コード	積み重なった数字が 必要とされる集計を 行いたい場合 (例)活動コード	進捗率のパイプ ライン管理など (例)活動コード

特殊検索項目について

「社員」や「部署」を組織ツリーからの選択式にしたい場合は、それぞれ「社員コード」「部署コード」をデータソース作成時(P32参照)に選択し、帳票集計条件設定の際に(P41参照)、項目を配置いただく必要がございます。

<p>選択ボックス② (社員)</p>		<p>社員コード配置時の 検索項目配置図</p>
<p>選択ボックス② (部署)</p>		<p>部署コード配置時の 検索項目配置図</p>

